



読字 原田 鏡

No. 815

2016/ 12/5

日中友好新聞

発行所

日本中国友好協会
〒113-0033 東京都文京区
本郷1-1-1 1F (7201室)

日中友好協会
岡山支部

〒710-8256
岡山県岡山市東区3-8-30 511
TEL:086(272)-3010
郵便番号1100
01250-0-3835

日中友好協会
倉敷支部

〒713-8511
倉敷市遠島中央1-8-4
(宮地方)
TEL:FAK086(446)-2711

日中友好協会岡山支部ホームページ
<http://rizhong.biz/>
メールアドレス
rizhong86@hotmail.co.jp



65大会期・第1回理事会に参加して

中国百科検定受験者岡山会場30人を目指します

曾田 和子

11月19〜20日の東京豊島区で行われた会議は約60人参加という規模のものであった。

戦争法施行後の夏の参院選で野党共闘が大きな成果を上げた一方、改憲勢力が衆参両院で3分の2の議席を占め、安倍内閣は現憲法下において、南スーダンに青森の部隊を派遣し、殺し殺されること

が現実にならうとしている。「という緊迫した情勢報告から会が始まり、とりわけ日中両国の関係について詳しく述べられた。

世界第2位の大国」として存在感を示す中国は、G20の開催国、温暖化阻止のためのパリ協定を率先して批准するなど、地球・人類的な課題で前進的な役割を果たす一方で、核兵器廃絶問題では、日本政府の「反対」よりましとは言え、国連決議に「棄権」という態度だった。日本のマスコミが煽る「反中感情」が9割を超えて悪化、

第3回中国百科検定 受験申込受付開始

第3回 中国百科検定

理解は絆を強くする。
中国力で可能性を広げよう！

ものしり君

■検定実施日
2017年3月20日(月/春分の日)
15:00 ~ 15:50 (50分)

■申込期間
2016年12月1日(月) ~
2017年2月20日(金)

主催:日本中国友好協会
後援:(公社)日本ユネスコ協会連盟、(公財)日中友好会館、
(一財)日本中国文化交流協会、東京中国文化センター
協賛:中国国家観光局、中国日本友好協会、株式会社春秋航空

中国百科検定公式サイト
<http://www.jcfa-net.gr.jp/kentel/>

中国側でも「反日感情」は4分の3を占めてはいるもの。こちらは4年連続で減少し、依然として、双方が相手国を重要な国とみていることは変わらず、事態を冷静に見ながら、相手国への理解を深める努力の必要がある。

外交では南シナ海問題や、内政でも幹部らの汚職・腐敗など大問題をかかえる中で、10月に行われた中国共産党の第18期6中全会において、習近平氏を「党中央の核心とする」ことを決定し、毛

沢東、鄧小平、江沢民の各氏に続き「核心」の指導者と定めた。「文革」から50年、文革を知らない世代が増えている中国、今後の動向が注目される。

台湾の民進党政権は、国民党とは異なり、92年合意「コンセンサス」には縛られないとして、中国と台湾は不可分の関係とする「一つの中国」の立場をとっていない。選挙による住民の意思でできた現政権への、中国の対応が注目される。

1国2制度を50年は継続すると確約した香港でも、中国側政府との乖離の問題がある。1国2制度と香港での民主的環境の維持が危惧される状況である。

65回大会後の活動では、不

再戦平和活動、中国平和の旅、中国帰国者問題について、中国百科検定、文化活動、友好交流活動、日中友好新聞、研究中国、ニュース、ブックレット、1000人純増の実現へ「仲間づくり」活動などの分野での活発な討論交流がなされた。

各地のとりくみを参考に、私は岡山の百科検定受験者20人目標は、可能に思えてきた、中央からの要請の30人確保に向けがんばりたい」と発言した。

きりえで年賀状づくりを楽しむ

小林 軍治



前列中央が竹内先生

11月22日(火)、14時から16時30分まで芳田公民館で、日本語学習講座の受講生5人と講師2人の計7人を対象に、きりえ教室が開かれました。指導してくださったのは竹内宜子先生です。

今年4月に開催された、日本中国友好協会主催の第48回全国きりえコンクールで、先生の作品「場所XIII」が、優秀作に選ばれました。先生は、日本きりえ協会の

年賀状づくりを指導していただきました。2時間半が短く感じるほど、みんな真剣にカッターナイフで色和紙を切り集中して取り組まれました。私は不器用なので鳥の絵は難しく失敗し、賀正の字と羽子板の羽しかできませんでしたが、中国帰国者の受講生は、子どものころから作ったことがあるらしく、鳥の羽毛など大変上手にでき上がっていて感心しました。最後に、出来上がった作品を手記念写真を撮りました。

日中友好中原古都を訪ねる旅 河南省開封市・登封市・洛陽市を訪問

11月15日(火)〜19日(土)まで、日中友好協会会敷支部12人と岡山支部2人の計14人が中国の開封市・登封市・洛陽市を訪問しました。岡山空港から上海浦東空港へ、上海市内をバスで移動して虹橋空港へ、国内線で河南省の省都鄭州へ、その後初日の宿泊地の開封へバスで移動、1日目は移動で終わりました。2日目、開封市内観光は鉄塔・相国寺・龍亭へ。

最初の計画では開封訪問は予定になかったのですが、私の要望で北宋の首都開封への訪問が決まりました。開封はち

ょうど10月半ばから11月半ばまで菊祭りが行われており、市内各地で見事な菊を見ることができました。また、北宋の宮殿は黄河の氾濫によって地下に埋まり、さらにその上に氾濫によって水がたまり、現在は湖の底に沈んでいて聞いて大変驚きました。

昼食後登封へ移動する途中、ホバークラフトで黄河を遊覧しました。この時期黄河は渇水期で水量が少なく、中州に降り立つことができませんでした。3日目、登封市のホテルを出発して禅宗総本山少林寺参拝です。1920年代、国民党と軍閥の争いで少林寺の建物の多くは消失したそうです。その後武術学校を見学し、まだ中学生か高校生と思しき少年たちの拳法実演を鑑賞しましたが、すごい迫力でした。濃い霧のため、嵩山を見ることができなかったのが残念でした。午後から洛陽に移動し、龍門石窟の見学です。時間の関係でゆっくり見て回ることにはできませんでしたが、則天武后が開削した廬舎那仏の前でみんな揃って記念写真を撮りました。



夜は洛陽市の方々と懇親会です。会には洛陽市人民対外友好協会の蔡志副主任、洛陽市国際友好交流中心の蔣



崇陽主任、同于愛紅事務局長が出席されました。今年洛陽市と岡山市が友好都市縁組をしてちょうど35周年にあたります。大森岡山市長からの親書を手渡すことができました。和やかな雰囲気の中で友好と親睦を深めることができました。4日目は洛陽市内観光です。まず中国最初の仏寺である白馬寺へ。現在白馬寺の隣の敷地にインドのサーンチーのストゥーパやタイ・ミャンマーの仏塔などが建てられ、これからもアジア各国の仏教遺跡を建てる計画があるそうです。午後からは洛陽博物館を見学しました。中国最大級と言われる巨大な博物館です。中国では二里頭遺跡の発掘調査により夏王朝が中国最古の王朝とされています。博物館見学中に2人の中国人少女から声をかけられ、最初は中国語で話しかけ

られて意味が分からなかったのですが、「Where do you come from?」とやさしい英語で訊いてくれたので「サーベン(日本)」と中国語で答えることができました。少女たちはうれいような、驚いたような反応でした。その後「Hi xueheng ma?」と簡単な中国語の会話ができました。夜は参加した14人と日本からの添乗員の広本さん、現地の旅行のすべてを手配してくれた徐晟さん16人が一つのテーブルを囲んで懇親会です。徐晟さんは今回の洛陽市要人との懇親会をセットしてくれるなど行き届いた心配りに本当に感謝です。また、龍



門の売店に詳しい解説書が置いてありましたが、これは徐晟さんの執筆によるものだそうです。中国の歴史に対する博学ぶりにも感心しました。私にとって今回の旅で手に入れた最も大きなものは徐晟さんとの出会いだと思いません。今回は関林(関羽の墓)には残念ながらいけませんでしたが、近いうちに徐晟さんと一緒にいきたいと思っています。

倉敷支部理事 犬飼 繁

開封、洛陽と巡りました。この一帯は河南省といい黄河の流域です。黄河の洪水による災害は古代からなやまされていたそうです。16日にはホバークラフトで黄河クルージングに行きました。ホバークラフトは洪水災害時の住民救出のために軍隊が持っていたそうです。今は観光用に使われています。現在では製造は国産されているそうです。初期にはウクライナの技術を導入していたそうです。

洛陽では白馬寺、龍門石窟を見学しました。次に少林寺拳法で有名な少林寺に行き、お寺の見学と少林寺拳法のデモンストレーションを見ました。お寺には日本に少林寺拳法を普及した宗道臣の碑がありました。少林寺武道学校では職員、教師、生徒で3万数千人が技の習得にはげんでいます。18日には中国で最大

級の洛陽博物館に行きました。非常に大きな建物で展示しているものも多く、全部見るには一日でも無理なようです。中国では埋もれているたくさんの遺跡を拡大な遺跡公園として保護し、予算がつき次第掘り出すそうです。17日には洛陽対外友好協会の方たちと岡山市長からの親書と吉備団子をもって会食、交流をしました。

20数年前、初めて中国に

来た時には、街には自動車よりも自転車が多く、自動車はけたたましくクラクションを鳴らし、郊外のトイレ事情は劣悪で、交通インフラも悪かったが、現在はそれらが改善され近代化が進んでいる。ただ、エネルギー、暖房を石炭にたより、年間販売台数が2000万台を超える自動車からの排気ガスにより、大気汚染はますます、街には一日中PM2.5を含スモッグがかかっている。経済成長と同時にこれらの問題にも取り組んでもらいたいものだ。

岡山支部理事 河井伸士

次の新聞送付作業は
12月12日(月)午後1時半から
民主会館2階で行います。
前回お手伝いくださった方です。

川岡 林井田 和 内井
石今 小河 真竹 竹坪